

草津市指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和3年9月17日（金）	開催時間	午前9時から 午前11時45分まで
出席者	委員8名、施設担当職員2名、事務局5名 各申請団体		
傍聴者	3名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めること等について ・「草津市営火葬場」の指定管理者の候補者の選定		
<p>1 開会</p> <p>2 「草津市営火葬場」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション① ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション② ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション③ ・質疑応答 ・審査・採決（非公開） <p>3 事務連絡</p> <p>4 閉会</p>			

- ◆令和3年度末で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①「草津市営火葬場」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

○草津市営火葬場

所在地は、草津市東草津4丁目。竣工は、昭和55年4月で、現在、築後41年経過している。敷地面積は、1,177㎡、建物面積は、267㎡で、鉄骨造1階建て。

施設の主な内容は、火葬炉3基の他、収骨室、告別兼炉前ホール、待合室、事務室等があり、駐車場として44台分がある。

開場時間は午前8時30分から午後5時15分まで。火葬予約の受付は、午前8時から開始している。

草津市と栗東市が共同して新たな火葬場を整備するための取り組みを進めている。新火葬場は栗東市内に設置する計画であり、草津市・栗東市両市の将来的な火葬需要に対応できる施設として、両市を構成市とする新たな一部事務組合を設立したうえで、令和9年度に運用開始になる計画である。

(2) 募集概要等

募集方法は公募により、指定期間は、令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間。なお、現指定管理者の指定期間は3年間であるが、新火葬場の運営開始予定時期等を考慮した指定期間を設定。

(3) 募集結果

申請者 3団体

(4) 審査内容

- ・施設の管理運営実績について、「火葬炉の運転、告別、収骨等」の部分的な火葬委託の実績ではなく、施設全体の管理運営の実績である「指定管理者の実績を豊富に有しているか」という点。
- ・職員の配置計画について、安定した施設運営が行える十分な人数が予定されているか、職員の労働条件について、昨今の社会情勢である「働き方改革」の実現など、社会の要請を踏まえた無理のない勤務シフト、ローテーションの考え方が取り入れられているか、また、安定した火葬業務を行うにあたり、火葬炉の運転、告別、収骨等に精通する職員が不可欠であるため、適正な人員を確保しているかという点。
- ・火葬場の運営にあたり、最も重要な要素である「火葬炉の維持管理」について、火葬炉の設計や設置、過去の修繕歴等に精通しているか、また、葬炉の性能を維持するための点検方法など適切な管理方策が示されているかという点。
- ・安全対策・リスク管理について、損害賠償保険の補償内容・補償額は十分なものであるかなど、リスク管理の考え方がしっかりととられているかという点。
- ・管理運営経費について、収支計画が実現可能なものか、収支計画と事業計画の整合性は図られているか、また、人手不足など、現在の雇用情勢において賃金が上昇傾向にある中で、「人件費が極端に抑えられていないか」という点。

(5) 採決方法

各委員の採点結果を参考に、候補者を選定する。

2 各申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆くさつ斎苑管理グループ（以下「斎苑」という。）による申請内容の説明：略
（以下 質疑応答）

＜委員（以下「委」という。）＞：「幅広く収集したニーズ」という説明の中で、「アンケートを直接交付する」とあったが、どのようなやり取りをするのか。

＜斎苑＞：よくある斎場では、アンケート用紙が置いてあるだけのことが多いが、直接手渡して御協力をお願いすることで、回収率を上げている。

＜委＞：心情的にアンケートに答えられない方もいると思うが、その場合どうしているのか。

＜斎苑＞：御遺族の雰囲気を見てお願いするかどうか判断している。

＜委＞：事務所の職員配置人数がパート社員で1名と説明があったが、休まれた場合はどうするのか。

＜斎苑＞：代替りの職員を配置する。斎場の閑散時間の朝と夕方には事務所に正規職員を配置し、繁忙時間である昼間は事務所にパート職員を配置し、正規職員が他の業務に回ることで効率化を図っている。

＜委＞：指定管理施設10施設、全国54施設を管理していると説明があったが、どのような受託の方法か。

＜斎苑＞：伸和サービスとイービスグループのジョイントベンチャーグループで管理しているのが10施設、イービスグループのみで全国で管理しているのが54施設である。

＜委＞：事故の事例はあるか。

＜斎苑＞：年間7万件以上火葬を行っているが、大きな事故は起こっていない。

＜委＞：事故が起こった際の事前の訓練は行っているか。

＜斎苑＞：複数の斎場に行く研修や、実際に自然災害が起こった場所に応援に行くなど、緊急時に対応できるような体制作りは普段から行っている。

＜委＞：個人情報保護の取組は。

＜斎苑＞：業務用のPCはインターネットに繋がらない等基本的なことはマニュアルに載っており、研修も行っている。伸和、イービス両者ともにプライバシーマークを取得しており、斎場物件での個人情報保護規定を内部で定めて適用している。また、弁護士による外部研修も行っている。

＜委＞：職員の平均勤続年数は。

＜斎苑＞：イービスグループでは、創業したのが平成18年であり、一番長くて15年ほどである。

＜委＞：職員の定着率は良いのか。

＜斎苑＞：この仕事をやってみたいという方は少ない。ただ、一旦仕事に就いて、サービスを提供できるようになると、やりがいを感じていただいております、離職率は高くはないのではないかと考えている。

＜委＞：産業医ではなく、臨床心理士を置いているのはどういった意図があるのか。

＜斎苑＞：明確な理由があるわけではないが、産業医を置くほどの規模ではなく、縁があって臨床心理士の資格をもった方がいたため協力いただいている。

◆A社（以下「A」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：指揮命令系統の確保について説明があったが、どのように組織の中で情報共有されていく仕組みになっているか。

<A>：少しでも危ないことがあれば、本部だけでなく、受託先にも連絡が行くような仕組みになっている。

<委>：提案の中で、5年でレンガの入れ替えとあるが、費用対効果は。

<A>：レンガはノートPCくらいの大きさで、設置するだけなので手間はほとんどかからない。費用についても1つ1万5千円程度なので安価で行うことができる。

<委>：人員配置について、6名採用予定で、内訳が、火葬場担当が3名、事務担当が3名とあるが、事務担当が3名である理由は。

<A>：6名というのは、草津市営火葬場の配置人員であり、毎日出勤するわけではない。毎日出勤するのは、火葬担当2名、事務担当2名となり、残る2名が休みとなる。

<委>：配置人員6名で常時4名出勤となると、研修などの時間が取りにくいのでは。

<A>：研修の日は決まっているので、その日は本部から応援を送り、業務に支障がないように行う。

<委>：プライバシーマークは取得しているか、取得していない場合は、今後取得する予定はあるか。

<A>：現状は取得していない。今後は取得を前提に活動している。

<委>：現在、グループおよび個々の会社で指定管理者として受託しているのは何件あるか。

<A>：現在は各社ともに受託していない。指定管理者ではないが、包括的な管理委託については他市で実績がある。

<委>：過去に指定管理者として管理した実績は。

<A>：グループで2か所である。

◆邦英商興・タカラビルメン共同グループ（以下「邦英」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：収支計画表の中で、人件費が5年間変わっていないが、維持するということか。

<邦英>：人件費については、コロナ火葬を勤務時間外に行っており、今後も増える可能性があるため、一定としている。

<委>：火葬炉が3つしかないが、管理維持の継続という観点から、どのような体制で修繕などを行っていかうと考えているか。

<邦英>：修繕については、営業時間内の火葬がない時間に行う。簡易な修繕は指定管理料の中で対応し、大規模なものについては、市が負担する。火葬件数が今後増加する可能性はあるが、現状の設備で賄えると考えている。場合によっては担当課と協議し、火葬件数を増やす等、柔軟に対応していきたいと考えている。

3 採決

各委員によるそれぞれの申請者の採点后、いずれの団体も最低基準点を上回っており、その中で最も高い得点を得た、「邦英商興・タカビルメン共同グループ」を指定管理者の候補者とし、その次に評価点の高い「くさつ斎苑管理グループ」を次点候補者とするのが適当であるとの結論に至った。